

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	NESUC-IIDA (ネスクーイイダ) ブランディング戦略事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人 南信州・飯田産業センター
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,233,080 円

事業内容

- NESUC-IIDA(ネスクーイイダ)ホームページ制作
地域共同受発注グループ「NESUC-IIDA(ネスクーイイダ)」のホームページを再構築し、共同受発注グループの認知度向上と、地域外からの共同受発注を獲得する地域を包含したページを制作した。
- ネスクーイイダホームページ等を活用した新事業展開研修会
オープンイノベーションへの参画や、展示会等への出展や支援機関の情報網を活用し、部品加工から機械の開発設計製造まで顧客の要望に応え、開発された製品や事業化した案件やAI、IoTや若者・シニア人材確保を視野にホームページの活用をテーマとした研修会を開催した。



【ホームページ活用研修会】

【目標・ねらい】

- ①これまでの積み重ねてきた地域外から受注獲得する活動と合わせて、リニア時代を見据え、SNS等に対応したホームページを制作し受発注を獲得する。
- ②BtoB(企業間取引)の受発注と併せて、地域の将来を担う若者や高度な技術を有したシニア確保に向け、地域企業や機械要素技術の紹介を動画等で発信する。

事業効果

- ①ネスクーイイダは、Network Support & Communityをスローガンに、切削・研磨・プレス・冷間鍛造板金、鋳造など精密機械加工の様々な技術を持った企業からなる共同受発注グループであり、平成9年に設立し、会員数は、114社(平成30年3月現在)の団体であるが、東京都大田区、東大阪、ウイングウィン岡山と比較すると認知度が低く、差別化が図られていない状況であったが、ホームページのリニューアルを行い、オーガナイザーによるワンストップ対応、地域内の技術力を発信する体制が整い、約500件のホームページの閲覧や約8億円の受注を獲得することができた。
- ②地域の将来を担う若者や高度な技術を有したシニア確保に向け、地域企業や機械要素技術の紹介する動画を約110本作成し発信するとともに、地域内で連携し開発した製品等をPRするチラシの作成や英語での情報発信することができ、専門学科人数の割合が多い郡内高校の地元就職者数も100名を確認することができた。

※自己評価【B】

【理由】

ホームページの仕組みを構築することができたので、今後は、情報発信を継続して行うなど、SEO対策を実施し地域活性化に及ぼす事業効果を高めたい。

今後の取り組み

高校を卒業した若者の7割が地域を離れ進学や就職で大都市圏に向かい、その後、地域に戻るのは4割程度であり、地域産業界における若年層の慢性的な人材不足や、大都市圏等に残りリタイヤ後当地域に戻ってくるシニア人材の高度技術を活かす場も少ない現状を、今回リニューアルしたホームページを活用することで他地域の共同受発注グループとの差別化を図り、南信州地域に残る・戻る・来る人材を増やすことに繋げたい。

ホームページを活用し、これまでの当地域へ外から受注獲得する現在の活動と合わせて、プロダクトライフサイクルとマーケットに柔軟に対応できる組織を目指し、IoT(Web、SNS等)を活用しながら、製品の品質向上、調達、物流、販売までの各工程の効率化、地域内の協働も視野に組立作業工程の効率化を図り受注を獲得する仕組みを構築し、部品加工のみならずユニットとしての共同受発注や食品産業界との連携による実績を積み重ね、オーガナイザーとともにネスクーイイダの強みをブランディングし、リニア時代にふさわしい地域創成のモデルに繋げたい。